

- 問1 日本が行っている技術援助や、非政府組織（NGO）が現地で展開している協力事例に見られる、現代の国際協力における重要な「理念」について述べたものとして、最も適切なものを選びなさい。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|--|
| 1. 途上国の主権を制限し、先進国が直接的に産業を運営する協力のあり方 | 2. 途上国の自立を促し、持続的な経済の発展を目的とした協力のあり方 | 3. 途上国の独自の文化を否定し、先進国と全く同じ社会構造を強制する協力のあり方 | 4. 途上国の経済発展を阻止し、常に先進国の援助が必要な状態に留める協力のあり方 |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|--|
- 問2 近年、環境配慮への取り組みとして、宅配便を一度で受け取ることが推奨されています。配送トラックの走行距離や稼働時間を抑制することで、地球温暖化の原因となる物質の排出を抑えることが目的ですが、この取り組みによって削減を目指している、二酸化炭素などの物質の総称として最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 温室効果ガス | 2. フロンガス | 3. 放射性廃棄物 | 4. 窒素酸化物 |
|-----------|----------|-----------|----------|
- 問3 使われなくなった携帯電話やパソコンなどの小型家電製品には、金などの希少な金属が含まれています。これらの製品を資源として捉え、回収して再利用する取り組みを何と呼びますか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|---------|-----------|---------|
| 1. バイオマス発電 | 2. 貿易摩擦 | 3. 海底資源開発 | 4. 都市鉱山 |
|------------|---------|-----------|---------|
- 問4 化石燃料の過剰な利用が、地球温暖化を進行させる主な要因となっている理由として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。（2020年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 利用時に発生する熱が直接大気を暖め、海水の蒸発を促すため | 2. 資源を採掘する際に、地中の地熱を大気中に放出させてしまうため | 3. 植物の成長を阻害する有害物質を排出し、光合成を妨げるため | 4. 燃焼させる際に、温室効果ガスである二酸化炭素を排出するため |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問5 エネルギー資源に関する統計資料において、化石燃料を用いた発電と太陽光や風力を利用した発電の特徴が比較されています。この内容に基づき、化石燃料の現状について述べた文として適切なものを、次の中から選びなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 発電の過程で温室効果ガスを排出しない、環境負荷の低いエネルギーである。 | 2. 枯渇する心配がなく、一度利用しても比較的短期間で再生が可能である。 | 3. 特定の地域に資源が集中しており、採掘可能な年数が限られている。 | 4. 電力需要が急増した際に、発電量を柔軟に調整することができない。 |
|--|--------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問6 1970年から2018年にかけての統計において、二酸化炭素やメタンといった物質の排出量が大幅に増加しています。これらの物質が地球温暖化を引き起こす直接的な原因となる仕組みとして、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2022年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 森林の光合成を妨げることで、植物による酸素の放出量を減少させる働きをする。 | 2. 大気中の雲の形成を促進し、太陽光が地表に届くのを遮断する働きをする。 | 3. 地表面から放射される熱を吸収し、大気の温度を上昇させる性質を持っている。 | 4. 太陽から届く紫外線を吸収し、成層圏の温度を急激に下げる性質を持っている。 |
|--|---------------------------------------|---|---|
- 問7 循環型社会の形成を目指す3R（リデュース、リユース、リサイクル）という活動のうち、使い終わった製品をそのままの形で再度使うのではなく、一度資源として回収し、再び製品の原料として加工して利用することを何といいますか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. リフューズ | 2. リユース | 3. リサイクル | 4. リデュース |
|----------|---------|----------|----------|
- 問8 地球温暖化対策の国際的な合意は、時代とともにその対象や目標が変化してきました。2015年に採択されたパリ協定の内容や背景として、最も適切な記述を選びなさい。（2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 世界の年平均気温の上昇を、産業革命前と比較して2度未満に抑えるという長期目標を掲げた。 | 2. 二酸化炭素の排出量が増加し続けている現状を踏まえ、温室効果ガスの排出を世界全体で即座にゼロにする合意がなされた。 | 3. 1990年代の地球サミットで設定された目標を緩和し、各国の経済発展を優先させることを目的としている。 | 4. 先進国にのみ二酸化炭素の削減を義務付け、発展途上国を対象外とした京都議定書の仕組みを継続した。 |
|--|---|---|--|
- 問9 2000年に開催されたハノーバー万国博覧会の背景にある「酸性雨」の被害について、ドイツの森林被害が自国のみならず周辺諸国の影響も受けて広範囲にわたった要因として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 季節によって吹く方向が逆転する季節風が、夏と冬で交互に汚染物質を循環させたため | 2. 中緯度帯の上空を一年中西から東へと吹いている偏西風が、汚染物質を遠方まで運んだため | 3. 山岳地帯から平地に向かって吹き下ろす局地的な風が、特定の森林に汚染物質を停滞させたため | 4. 赤道付近から高緯度地域に向かって吹く貿易風が、熱帯の汚染物質をヨーロッパへ運んだため |
|--|--|--|---|
- 問10 政府が推奨する地球温暖化対策の国民運動において、低炭素社会の実現に向けた賢い選択（チョイス）が呼びかけられています。家庭部門における排出量増加という背景を踏まえ、節電や省エネが必要とされる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日本のエネルギー自給率は非常に高く、節電は温暖化対策よりも資源保護が主目的だから | 2. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーは、家庭の電力としては活用できない仕組みだから | 3. 家庭で節電を行わないと、近隣地域で酸性雨が発生する直接的な原因となるから | 4. 電化製品の普及やライフスタイルの変化により、家庭でのエネルギー消費量が増大しているから |
|---|--|---|--|
- 問11 食品ロス削減のために、消費者が期限の迫った商品を優先して購入する際、指標となる「賞味期限」という言葉の説明として、正しいものはどれですか。（2020年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. お弁当や生菓子など、品質が急速に劣化しやすい食品において、安全に食べることができる期限 | 2. スナック菓子や缶詰など、比較的傷みにくい食品において、おいしく食べることができる期限 | 3. その食品が国内のどの地域で生産されたかを明確にし、消費者が安心して購入できる期限 | 4. 食品添加物の使用量について、国が定めた安全基準を維持するために設定された法的な廃棄期限 |
|--|---|---|--|
- 問12 現代の食生活において、環境への負荷を軽減するために推奨されている「地元で生産された農産物や水産物を、その地域で消費する」という取り組みを何と呼びますか。（2022年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 地産地消 | 2. 近郊農業 | 3. 促成栽培 | 4. 栽培漁業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 2000年度から2020年度までの統計によると、高知県における「1人1日あたりのごみ排出量」は、全国平均が約1100gから900gへと変化する中で、約1070gから960gへと推移しています。この状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 高知県・全国ともに減少傾向にあるが、2020年度時点の数値を見ると高知県の排出量は全国平均よりも多い水準にある。 | 2. ライフスタイルの変化により全国的に排出量が増加している中で、高知県だけが大幅な減少に成功している。 | 3. 全国平均は減少している一方で、高知県の排出量は横ばい、または微増の状態が続いており、全国との差が拡大している。 | 4. 高知県の排出量は全国平均よりも常に少なく推移しており、2020年度には全国に先駆けて最小値を記録した。 |
|---|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 途上国の自立を促し、持続的な経済の発展を 目的とした協力のあり方	国際社会における協力は、援助を受ける側が将来的に援助なしで経済を発展させられるようになることを目指しています。これを「自立」の促進と呼びます。単なる金銭的な支援だけでなく、技術指導や教育支援などの事例が多いのは、こうした自立した「持続的」な発展を支えるためです。
問2	答え 1 温室効果ガス	宅配便の再配達とは、配送トラックの追加走行を発生させ、二酸化炭素を排出する要因となります。二酸化炭素は、大気中に熱を蓄える性質を持つ温室効果ガスの代表的なものであり、その排出を抑制することは、地球温暖化という地球規模の環境問題を解決するために不可欠な取り組みです。
問3	答え 4 都市鉱山	廃棄された電子機器の中には、自然界の鉱山に匹敵するほどの貴重な金属が蓄積されていることから、これを「都市鉱山」と呼びます。携帯電話やパソコンなどの製品から金やパラジウム、コバルトといったレアメタルを取り出すことで、資源を海外からの輸入に頼るだけでなく、国内で循環させる持続可能な社会の実現が期待されています。
問4	答え 4 燃焼させる際に、温室効果ガスである二酸化炭素を排出するため	石油や石炭などの化石燃料は炭素を主成分としており、燃焼して酸素と結びつくことで二酸化炭素を発生させます。二酸化炭素には、地球から放射される熱を吸収して大気を暖める「温室効果」があるため、その濃度が高まることで地球全体の平均気温が上昇し、深刻な環境問題を引き起こしています。
問5	答え 3 特定の地域に資源が集中しており、採掘可能な年数が限られている。	化石燃料は、石油や石炭、天然ガスなどの地下資源を指し、それらは地球上の限られた場所にのみ存在しています。これを「埋蔵地域の分布の偏り」と呼びます。また、これらは再生不可能な有限の資源であるため、将来的に採掘ができなくなる可能性を考慮して、エネルギー源の多様化（エネルギーミックス）を図る必要があります。なお、発電時の温室効果ガスの排出や資源の有限性は、太陽光や風力などの再生可能エネルギーと対照的な特徴です。
問6	答え 3 地表面から放射される熱を吸収し、大気の温度を上昇させる性質を持っている。	二酸化炭素やメタンなどは温室効果ガスと呼ばれ、太陽からの熱によって温められた地表面から放出される赤外線を吸収し、再び地表に向けて放出する性質があります。1970年以降、産業活動の活発化に伴いこれらのガスの排出量が増加したことで、大気中に熱がこもりやすくなり、世界の平均気温の上昇を招いています。
問7	答え 3 リサイクル	廃棄物をごみとして捨ててしまうのではなく、再生資源として再び製品の原料にすることを指します。これに対して「リデュース」はごみそのものを減らすこと、「リユース」は洗って何度も使うなど、製品をそのままの形で再利用することを指しており、これらを総称して3Rと呼びます。
問8	答え 1 世界の年平均気温の上昇を、産業革命前と比較して2度未満に抑えるという長期目標を掲げた。	パリ協定は、1990年代からの気温上昇や二酸化炭素排出量の増加といった深刻な状況を背景に成立しました。この協定では、京都議定書とは異なり発展途上国を含むすべての国が削減に取り組むことを求め、世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2度未満（可能であれば1.5度）に抑えるという具体的な国際目標を共有しています。
問9	答え 2 中緯度帯の上空を一年中西から東へと吹いている偏西風が、汚染物質を遠方まで運んだため	酸性雨は、工場や自動車から排出された窒素酸化物や硫黄酸化物が原因となりますが、これらは偏西風に乗って国境を越え、数百キロメートル以上離れた地域にまで運ばれるという特徴があります。ヨーロッパでは、ある国で発生した汚染物質が偏西風によって他国の森林や湖沼に被害をもたらすことが大きな国際問題となり、国際的な枠組みでの対策が進められるきっかけとなりました。
問10	答え 4 電化製品の普及やライフスタイルの変化により、家庭でのエネルギー消費量が増大しているから	現代の生活では、多くの便利な家電製品が普及し、個々の世帯が消費する電力エネルギーが増える傾向にあります。産業界での省エネが進む一方で、家庭部門の排出量が課題となっているのは、こうした生活様式の変化が主な背景です。そのため、個人の意識的な節電行動が、社会全体の二酸化炭素排出量を抑制する鍵となります。
問11	答え 2 スナック菓子や缶詰など、比較的傷みにくい食品において、おいしく食べることができる期限	「賞味期限」は比較的品質が安定している食品に表示されるもので、その期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。一方で、お弁当など傷みやすい食品には「消費期限」が使われます。これらを混同せず、特に賞味期限が近いものを積極的に選ぶことは、無駄な廃棄を抑制する消費者としての重要な役割（エンカル消費）の一つです。
問12	答え 1 地産地消	地域で生産されたものをその地域で消費することを意味する言葉です。遠隔地から食料を運ぶ際に排出される二酸化炭素を削減できるほか、輸送時間の短縮による食材の鮮度保持、地域の農業・水産業の活性化、生産者の顔が見えることによる食の安全性の向上など、多角的なメリットがあります。
問13	答え 1 高知県・全国ともに減少傾向にあるが、2020年度時点の数値を見ると高知県の排出量は全国平均よりも多い水準にある。	高知県の1人1日あたりのごみ排出量は、2000年度の1070gから2020年度の960gへと減少傾向にあります。しかし、同時期の全国平均は1100gから900gへとより大きく減少しており、2020年度時点の比較では高知県の排出量は全国平均を上回る状況にあります。循環型社会の形成に向けて、さらなるごみの減量が課題となっています。